

# 宮崎県南部信用組合

## 半期REPORT 20122

平成24年度上半期経営情報  
(平成24年9月末現在)

## 経営情報(半期情報の開示について)

皆様には、日頃より格別のご愛顧お引き立てを賜り、心から御礼申し上げます。

この度、平成24年度上半期(平成24年4月1日～平成24年9月30日まで)の経営概況をまとめましたので、ご理解を深めていただく資料として、ご高覧賜りたいと存じます。

宮崎県南部信用組合は、地域の皆さまに本当にお役に立てる金融機関をめざし、これまで以上に経営の健全性と基盤強化に努めてまいりますので、一層のご支援とご指導のほど、心からお願い申し上げます。

平成24年11月

宮崎県南部信用組合

理事長 平原春義

### ◆貸借対照表

(単位:千円)

科 目	資 産 の 部		科 目	負 債 及 び 純 資 産 の 部	
	平成24年9月末	平成24年3月末		平成24年9月末	平成24年3月末
現金・預け金	3,763,412	4,019,716	預 金 ・ 積 金	8,359,367	8,058,216
有 価 証 券	992,366	693,340	借 用 金	-	300,000
貸 出 金	3,957,988	3,995,955	そ の 他 負 債	34,974	41,995
そ の 他 資 産	78,054	90,372	引 当 金	59,277	61,355
有 形 固 定 資 産	125,704	128,843	債 務 保 証	15,170	17,825
無 形 固 定 資 産	1,631	1,631	負 債 の 部 合 計	8,468,790	8,479,393
債 務 保 証 見 返	15,170	17,825	出 資 金	116,142	114,718
貸 倒 引 当 金	△ 241,814	△ 248,892	利 益 剰 余 金	140,116	135,922
(うち個別貸倒引当金)	△ 225,480	△ 231,927	組 合 員 勘 定 合 計	256,258	250,640
			そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△ 32,535	△ 31,240
			純 資 産 の 部 合 計	223,723	219,400
資 産 の 部 合 計	8,692,514	8,698,793	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	8,692,514	8,698,793

(注)記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

### ◆損益計算書

(単位:千円)

科 目	平成24年9月末	平成24年3月末
経 常 収 益	108,120	221,704
資金運用収益	92,704	187,455
役務取引等収益	4,298	9,934
その他業務収益	2,319	4,094
その他経常収益	8,798	20,219
経 常 費 用	102,869	210,263
資金調達費用	6,660	16,904
役務取引等費用	14,771	26,229
その他業務費用	11	-
経 常 費	80,894	166,380
その他経常費用	531	748
経 常 利 益	5,250	11,441
特 別 利 益	-	23
特 別 損 失	-	-
税引前当期純利益	5,250	11,464
法人税、住民税及び事業税	1,056	2,066
当 期 純 利 益	4,194	9,398
繰越金(当期首残高)	1,144	△ 8,253
当期末処分剰余金	5,338	1,144

(注)記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

### ◆自己資本比率の構成

(単位:千円、%)

項 目	平成24年9月末	平成24年3月末
出 資 金	116,142	114,718
利 益 準 備 金	132,778	132,778
特 別 積 立 金	2,000	2,000
繰越金(当期末残高)	5,338	1,144
基本的項目(A)	256,258	250,640
一般貸倒引当金	16,334	16,964
補完的項目不算入額(△)	-	-
補完的項目(B)	16,334	16,964
自己資本総額(A+B)	272,592	267,605
資産オンバランス項目	3,430,800	3,456,020
オフバランス取引等項目	13,539	15,007
オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	330,123	330,123
リスク・アセット等計	3,774,463	3,801,150
単体Tier 1比率	6.78	6.59
単体自己資本比率	7.22	7.04

(注)記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

## ◆金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額

(単位:千円、%)

区 分		債権額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D)=(B)+(C)	保全率 (D)/(A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	平成24年度3月末	249,209	29,253	219,955	249,209	100.0
	平成24年度9月末	235,200	19,564	215,636	235,200	100.0
危険債権	平成24年度3月末	31,200	16,714	11,972	28,687	91.9
	平成24年度9月末	26,100	12,911	9,844	22,755	87.2
要管理債権	平成24年度3月末	38,681	20,177	8,493	28,671	74.1
	平成24年度9月末	41,768	25,264	7,905	33,169	79.4
不良債権計	平成24年度3月末	319,090	66,146	240,421	306,567	96.1
	平成24年度9月末	303,068	57,739	233,386	291,125	96.1
正常債権	平成24年度3月末	3,702,371				
	平成24年度9月末	3,678,398				
合 計	平成24年度3月末	4,021,462				
	平成24年度9月末	3,981,468				

(注)平成24年9月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急処置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類し、以下の簡便な方法により算出しております。従って、平成24年3月末の計数とは算出方法が異なるため、計数は連続しておりません。

〈平成24年9月末の算出方法〉

- 1.債務者区分については原則として平成24年3月末時点における自己査定による債務者区分を基準としております。ただし、4月1日から9月末までに倒産、不渡り等の客観的な事業ならびに内部格付による債務者区分の変更等のあった債務者については、当組合の定める基準に基づく債務者区分見直し後の債務者区分によっております。
- 2.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の金額は、債務者区分でいう破綻先及び実質破綻先に該当する債務者に対する債権の合計です。
- 3.「危険債権」の金額は、債務者区分でいう破綻懸念先に該当する債務者に対する債権の合計です。
- 4.「要管理債権」の金額は、債務者区分でいう要注意先に該当する債務者に対する債権のうち、貸出条件を緩和している債権及び3か月以上延滞している債権の合計です。
- 5.「正常債権」の金額は、債務者の財務状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権の合計です。



## ◆自己資本比率(国内基準)

(単位:%)

	平成24年9月末	〈参考〉平成24年3月末
自己資本比率	7.22	7.04

## ◆預金・貸出金の状況

(単位:千円)

区分	平成24年9月末	〈参考〉平成24年3月末
預金残高	8,359,367	8,058,216
貸出金残高	3,957,988	3,995,955

## ◆貸出金業種別残高・構成比

(単位:千円、%)

業種別	平成24年9月末		〈参考〉平成24年3月末	
	金額	構成比	金額	構成比
製造業	29,048	0.7	32,282	0.8
農業・林業	51,608	1.3	53,647	1.3
漁業	65,837	1.7	76,790	1.9
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	—	—
建設業	182,962	4.6	197,571	4.9
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	—
情報通信業	—	—	—	—
運輸業・郵便業	3,176	0.1	4,789	0.1
卸売業・小売業	324,941	8.2	332,206	8.3
金融業・保険業	20,076	0.5	20,532	0.5
不動産業	176,791	4.5	170,009	4.3
物品賃貸業	—	—	—	—
学術研究・専門・技術サービス業	—	—	—	—
宿泊業	55,065	1.4	55,470	1.4
飲食業	32,157	0.8	35,600	0.9
生活関連サービス業・娯楽業	105,041	2.7	100,705	2.5
教育・学習支援業	—	—	—	—
医療・福祉	121,328	3.1	123,948	3.1
その他のサービス	143,304	3.6	137,456	3.4
その他の産業	—	—	—	—
<b>小計</b>	<b>1,311,339</b>	<b>33.1</b>	<b>1,341,011</b>	<b>33.6</b>
地方公共団体	604,487	15.3	635,380	15.9
雇用・能力開発機構等	—	—	—	—
個人(住宅・消費・納税資金等)	2,042,160	51.6	2,019,563	50.5
<b>合計</b>	<b>3,957,988</b>	<b>100.0</b>	<b>3,995,955</b>	<b>100.0</b>

## ◆損益の状況

(単位:千円)

区分	平成24年9月末	〈参考〉平成24年3月末
業務純益	▲ 3,016	▲ 8,029
経常利益	5,250	11,441
当期純利益	4,194	9,398

## ◆有価証券の時価情報

◎満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位:千円)

	平成24年9月末					〈参考〉平成24年3月末				
	貸借対照表 計上額	時 価	差 額	うち		貸借対照表 計上額	時 価	差 額	うち	
				益	損				益	損
社 債	200,000	197,820	▲ 2,180	—	2,180	200,000	197,440	▲ 2,560	—	2,560
そ の 他	200,000	150,280	▲ 49,720	—	49,720	200,000	149,440	▲ 50,560	—	50,560
合 計	400,000	348,100	▲ 51,900	—	51,900	400,000	346,880	▲ 53,120	—	53,120

◎その他有価証券で時価のあるもの

(単位:千円)

	平成24年9月末					〈参考〉平成24年3月末				
	取得原価	貸借対照表 計上額	評価差額	うち		取得原価	貸借対照表 計上額	評価差額	うち	
				益	損				益	損
株 式	24,580	24,580	—	—	—	24,580	24,580	—	—	—
債 券	400,322	402,496	2,174	2,174	—	100,000	100,430	430	430	—
国 債	300,322	302,430	2,108	2,108	—	—	—	—	—	—
地 方 債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
社 債	100,000	100,066	66	66	—	100,000	100,430	430	430	—
そ の 他	200,000	165,290	▲ 34,710	—	34,710	200,000	168,330	▲ 31,670	—	31,670
合 計	624,902	592,366	▲ 32,535	2,174	34,710	424,580	293,340	▲ 31,240	430	31,670

## ◆地域貢献活動

### ■融資を通じた地域貢献の状況

※当組合は地域貢献活動として、当組合営業エリアに居住する個人の方への生活環境の向上に必要な資金の支援及び事業を営む中小零細(法人・個人)の方への事業応援資金の支援を積極的に行っています。

◎貸出先数・件数・金額

項 目	平成24年9月末	平成24年3月末
貸出先数 (先)	1,035	1,010
貸出件数 (件)	1,473	1,445
貸出金残高 (千円)	3,957,988	3,995,955

◎融資制度等の利用状況

種 類	平成24年9月末		平成24年3月末	
	件数 (件)	残高 (千円)	件数 (件)	残高 (千円)
宮 崎 県 融 資 制 度	22	37,819	25	44,169
日 南 ・ 串 間 市 融 資 制 度	40	50,523	44	55,419
商 工 会 議 所 ・ 商 工 会	4	5,752	5	11,860
保 証 機 関	47	81,752	52	65,116

◎貸出先の主な内容

貸 出 金	使 途	平成24年9月末		平成24年3月末	
		件数 (件)	残高 (千円)	件数 (件)	残高 (千円)
事 業 者	運転資金	177	1,239,584	191	1,310,440
	設備資金	74	643,658	73	636,859
個 人	住宅資金	150	1,137,967	142	1,132,146
	消費資金	1,008	770,293	968	726,541
そ の 他		64	166,486	71	189,969

## 総代会の仕組みと役割

信用組合は、組合員の相互扶助の精神を基本理念に金融活動を通じて経済的地位の向上を図ることを目的とした協同組合組織金融機関です。また、信用組合には、組合員の総意により組合の意思を決定する機関である「総会」が設けられており、組合員は出資口数に関係なく、一人一票の議決権及び選挙権を持ち、総会を通じて信用組合の経営等に参加することができます。

しかし、当組合は、組合員4,560名(24年3月末)と多く、総会の開催が困難なため、中小企業等協同組合法及び定款の定めるところにより、「総代会」を設置しています。

総代会は、総会と同様に組合員一人一人の意思が信用組合の経営に反映されるよう、組合員の中から適正な手続きにより選挙された総代により運営され、組合員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保しています。また、総代会は、当組合の最高意思決定機関であり、決算や事業活動等の報告が行われるとともに、剰余金処分、事業計画の承認、定款変更、理事・監事の選任など、当組合の重要事項に関する審議、決議が行われます。

総代は、組合員の代表として、総代会を通じて組合員の信用組合に対する意見や要望を信用組合経営に反映させる役割を担っています。

## 総代の選出方法、任期、定数

総代は、総代会での意思決定が広く組合員の意思を反映し適切に行われるよう、組合員の幅広い層の中から、定款及び総代選挙規約に基づき、公正な手続きを経て選出されます。

### (1) 総代の選出方法

総代は組合員であることが前提条件であり、総代選挙規程等に則り、各地区毎に自ら立候補した方もしくは地区内の組合員から推薦された方の中から、その地区に属する組合員により、公平に選挙を行い選出されます。

なお、総代立候補者の数が当該地区における総代定数を超えない場合は、その立候補者を当選者として選挙は行っていません。

### (2) 総代の任期・定数

総代の任期は3年となっております。なお、当組合は地区(選挙区)を営業店単位に3つの地区に分け、総代の選出を行っています。

総代の定数は110名以内と定め、地区別の定数は、地区の組合員と総組合員数の按分比により算出してあります。(平成24年3月31日現在の組合員総数は4,560人)。

### ■本店 54名

(敬称略、順不同)

総代氏名	阿部洋二	安藤勝彌	安藤正之	池田義次	伊知地康男	市元和敏	市元由孝
	岩下かよ子	門川重喜	神前信正	川崎勝宜	河野和文	河野賢二	河野憲二
	川野好幸	桑山弘昭	斉藤 斉	坂元謙一	阪元忠徹	鈴木安士	高橋三二
	竹本政憲	谷端恒生	塚本又義	野崎公洋	橋本きい子	濱川修一	福井清水
	福井忠敏	福山良平	藤浦 弘	前田常男	松田謙一郎	森本克久	矢越祥一
	安竹 博	山内富士夫	山倉定雄	山下清春	山下秀則	吉倉隆一	吉田 博
	米倉廣敏	渡辺浩希	岩満悦郎	時任俊一	原嘉一郎	平木俊一	山口直嗣
	山口長利	川崎萬壽					

### ■串間支店 35名

(敬称略、順不同)

総代氏名	荒川政文	有嶋富夫	石上昭夫	岩崎淳一	江藤穂奈美	江藤亮一	海江田暁
	加藤裕久	川田好弘	喜多正秋	金川正美	黒木茂樹	黒木美義	世良田義人
	代口 修	土居 亨	富山真理子	橘 保臣	立本岩実	立本昌富	田中安孝
	谷口共一	津路博樹	西谷辰盛	西村武和	豊饒彰彦	本田正平	松下富男
	松本英敏	宮本隆夫	森 健一郎	柳田憲治	吉田 巧		

### ■日南支店 21名

(敬称略、順不同)

総代氏名	荒武正一	池田徳浩	石元 厚	鬼下二男	金丸正一	河野東一郎
	黒木新一	斉藤 親	坂元嘉平次	谷脇逸郎	中島欽也	中津良光
	星野隆幸	村田實生	山本保則	由地正男	若松幸雄	日新木材工業(有)
	木下匡巨	深水洋史				